

特別支援学級作業学習 学習指導案

1 単元名 「報連相を意識して、作業学習に取り組もう」

2 単元について

クラスの半数が行事などにおいて未経験者であることから、ゆうあいピック、体育祭、げんき交流会などの行事先は落ち着かない生徒も数名見られた。集団生活や中学生としてのルールを学びながら、姿勢を正しくして静かに話を聞くなど、少しずつ取り組み方に意識がもてるようになってきている。

本校では作業学習を陶芸班とクラフト班の2班で展開し、陶芸班は1年生7名、2年生2名、3年生5名の14名が所属し、3年生は1年次に陶芸を経験している。昨年は行事や授業変更などで継続した活動ができず、粘土が乾燥してしまったり、カビが生えて製品が仕上がらなかったりすることがあり、今年は生活単元学習と作業学習を流動的にして日課を組んでいる。6月に新しいメンバーでスタートし、粘土の扱い方や器具の使い方などを覚え、一部の生徒は皿作りまでできるようになった。指の力が弱い生徒には、めん棒を使用したたら粘土を作り、型抜きを行っている。なめしの工程では、表面のデコボコや角ばった縁を丸くするなど、なめすところを意識させている。水の使い過ぎや、力強く皿を持ってしまうなどの行為により、お皿を割ってしまうことがあったが、その都度失敗の原因を確認し感覚をつかむようにしている。今後、素焼きを行い、やすりがけや釉薬がけなどの仕事を順次行っていく予定である。

作業学習＝働く学習ということは理解しているが、仕事への取り組み方については実習経験のある3年生と未経験の1、2年生では、かなりの差が感じられる。学校という空間で会社の雰囲気を感じながら作業学習を行うことにより、責任と自覚をもって取り組む姿が見られるようにしていきたい。その中で、出勤を意識するため出勤札を使用し、リーダーによるミーティングを行っている。また、作業日誌への記入も行っている。6月に作業の体験を行い、それぞれの能力に合わせた仕事の分担を行った。現在は、自分の仕事を覚え、自分から仕事に取り組むことを目標に取り組んでいる。

本単元では、「報連相を意識して、作業学習に取り組もう」と位置づけ、最低限必要なコミュニケーションは身に付けていけるように言葉遣いを確認している。型抜きや皿作りでは、「粘土をもらいます。」「〇〇先生できました。」「〇〇先生上手くできません。来てください。」などの言葉を伝えるようにしている。なめしでは、仕上がり途中でも「終わりました。」という報告が多い。見本の皿と見比べてどこが違うのか気付けるようにしているが、わからない時は「わからないので教えてください。」と聞くように声をかけている。「できました」という報告は、かなりの生徒ができるようになってきている。しかし、上手くできなかった時や失敗してしまった時に伝えられず、ごまかそうとすることがある。すぐに報告し、どうしたらよいかを聞けるようにしたいと考える。

3 単元の目標

(1) <関心・意欲・態度>

- ・進んで仕事に取り組むことができる。
- ・製品ができた時、仕事わからない時は自分から報告・連絡・相談ができる。

(2) <技能>

- ・正しい方法で作ることができる。

(3) <知識・理解 思考・判断>

- ・仕上がりを意識して作ることができる。

4 指導計画

計画	学習内容	時間
6月	・陶芸班の作業を体験する。	2時間
7月～ 10月	・担当の仕事で製品を作る。 ・素焼きを行う。	16時間 本時
11月～ 2月	・釉薬がけや転写シールでデザインをする。 ・本焼きをする。	10時間

6 本時の指導

(1) <関心・意欲・態度>

- ・進んで仕事に取り組むことができる。
- ・製品ができた時、仕事がわからない時は自分から報告・連絡・相談ができる。

(2) <技能>

- ・正しい方法で作ることができる。

(3) <知識・理解 思考・判断>

- ・仕上がりを意識して作ることができる。

(2) 本時における個別目標及び個別の手立て

生徒名	本時の個別目標	個別の手立て
Aさん	・皿作りを行い、困った時は教師に相談に行くことができる。	・たたらにひびがあったり、成型時に空気が入っていたりしたら、報告に行くように確認する。
Bさん	・皿作りを行い、終わったら自分から報告し、次の活動を行うことができる。	・一枚終わったら皿を持って報告に行くことを確認しておく。
生徒名	本時の個別目標	個別の手立て
Cさん	・なめしを行い、仕上がりがわからない時に相談することができる。	・直し方がわからない時や、仕上がりが不安な時に「どうしたらいいですか」「これで大丈夫ですか」など言うことを決めておく。
Dさん	・皿作りを行い、困った時に先生を呼んで聞くことができる。	・たたらにひびが入っていたり、切れてしまったりしたら教師に声をかけることを事前に確認する。
Eさん	・型抜きを行い、自分から報告ができる。	・たたら1枚分の型抜きが終わったら、報告ができる。
Fさん	・皿作りを行い、困った時に相談に行く	・粘土がひび割れたりゆるくて形にならなかつ

	ことができる。	たりする時は、相談をすることができる。
Gさん	・型抜きを行い、自分から報告ができる。	・たたら1枚分の型抜きが終わったら、報告をすることを事前に確認する。
Hさん	・なめしを行い、仕上がりがわからない時に相談に行くことができる。	・直し方がわからない時や、仕上がりが不安な時に「どうしたらいいですか」「これで大丈夫ですか」など言うことを決めておく。
Iさん	・なめしの作業で、仕上がりに不安がある時は相談に行くことができる。	・直し方がわからない時や、仕上がりが不安な時に「どうしたらいいですか」「これで大丈夫ですか」など言うことを決めておく。
Jさん	・型抜きを行い、失敗や出来の悪いものがあつたら報告することができる。	・たたら1枚分の型抜きが終わったら、報告をすることを事前に確認する。
Kさん	・なめしの作業で、仕上がりを相談に行くことができる。	・ある程度までなめしが終わったら、「これで大丈夫ですか」と聞くように事前に確認する。
Lさん	・なめしの作業で、失敗や不良品があつた時は報告することができる。	・なめしを始める前に皿を確認して、ひびや形の悪いものは報告に行くことを事前に確認する。
Mさん	・なめしの作業で、失敗や不良品があつた時は報告ができる。	・なめしを始める前に皿を確認して、ひびや形の悪いものは報告に行くことを事前に確認する。
Nさん	・なめしの作業で、仕上がりに不安がある時は相談に行くことができる。	・なめしを始める前に皿を確認して、ひびや形の悪いものは報告に行くことを事前に確認する。

(3) 本時の展開 (10 / 17)

時配	学習活動	教師の指導・支援の方法 (○) と評価 (●)	備考
5	1 準備	○出席、身だしなみの確認をする ○道具の片付けがある時は、声をかけて行動を促す	
5	2 ミーティング		
	報連相を意識して、作業学習に取り組もう		
	・仕事内容の確認 ・今日の目標 ・先生の話	○話を聞く姿勢を作れるように、出来ていない生徒には声をかける。	
20	3 作業開始		
	①型抜きグループ Eさん、Gさん、Jさん	○目安の位置まで粘土を伸ばすように確認し、様子を見て声をかける。 ●使う道具を自分で用意して、仕事を始めることができたか。 ●たたら一枚分の型抜きができたなら、報告をすることができたか。	粘土 粘土板 型 竹串
	②皿作りグループ Aさん、Bさん、Dさん、 Fさん、	○皿一枚分の粘土を用意して置く。 ○竹串を皿に沿わせるように動かすことを確認する。 ○上手く粘土が落ちず、空気が入ったり、	粘土 粘土板 皿

		<p>ずれたりしたら声をかけるように確認しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●手順通りに皿の成型ができたか。 ●終わったら報告し、指示を聞くことができたか。 ●困ったことが起きたら、相談することができたか。 	竹串
	<p>③なめしグループ Cさん、Iさん、Kさん、 Lさん、Mさん、Nさん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○完成品の手本を提示し、どこを意識するのか一緒に確認する。 ○仕上がりが不安な時や失敗した時には報告・相談することを伝えておく。 ●失敗した時や、不良品があった時に報告することができたか。 ●仕上がりに不安がある時は、相談をすることができたか。 	ボウル スポンジ 見本の皿
5	4 後片付け	<ul style="list-style-type: none"> ○取りかかりの遅い生徒には、様子をみて声をかける。 	
5	5 清掃	<ul style="list-style-type: none"> ○流し、ほうき、雑巾に分かれて行うことを伝え、取りかかりの遅い生徒には具体的に指示を行う。 	
5	6 反省 作業記録簿の記入	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の様子を振り返って、出来たこと、失敗したことなど、次に意識できるように伝える。 ●今日の様子を振り返り、作業記録簿に記入ができたか。 	
5	7 ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ○目標が達成できたか確認をする。 ○今日アドバイスしたことを全体に伝え、共通理解を図る。 ●静かに話を聞き、返事ができたか。 	

7. 場の設定

